

広め隊メンバー



鮎川めぐみ

作詞家。中森明菜、高橋真梨子、夏川りみ等、数多くのアーティストに作品を提供。1997年に千住明（せんじゅあきら）氏と共に担当したアニメ映画「どんぐりの家」の主題歌「心と心で」は、中学校音楽の教科書にも採用されました。その他、テレビドラマやCM、ミュージカルの訳詞なども担当。2013年に京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」、2016年には子ども向けサブソング「えがおのおくりもの」の作詞を担当。現在は手話による詩と歌の朗読による、命の大切さをつなぐ活動を行われています。

☆広め隊アーティスト

■アルゴノータ



京都市立芸術大学出身のヴァイオリンとヴィオラのデュオ。持ち前の技術と音楽性で、クラシックからポップスまで、幅広いレパートリーを演奏します。関西を中心に多数のイベントや小学校、演奏会などで活躍中。ゲストを迎えて弦楽三重奏やカルテット、ピアノとのアンサンブルなど様々な編成での演奏も可能です。また、リクエスト曲があれば、ヴァイオリンとヴィオラのデュオヴァージョンにて演奏します。

■Tomo & Cherry（トモとチェリー）



大阪や京都を主としてライブハウスでの出演などで活躍するシンガーの tomo と、洋楽邦楽新旧なんでも対応するレパートリーの多さが売りのピアニスト cherry のユニット。Tomo の透き通ったハイトーンを、アコースティックなサウンドでお楽しみください。

■フラリーパッド



京都発ウクレレとギターによるアコースティックデュオ。ポップで爽やかなサウンドが魅力。テレビやラジオの番組にも、オリジナル楽曲が多数起用されています。代表曲に「サマー・シュプール」「京都タワーにのぼって」など。また、平成28年秋に誕生した子ども向け京都府人権啓発サブソング「えがおのおくりもの」も歌っています。

■ミュージックアンサンブル VIVO(ヴィーボ)



京都府、滋賀県を中心に幅広く活動し、年間40回以上の舞台をこなすなど、実績を積んでいます。2009年から2012年に中国西安市や桂林市などで公演。京都府知事からの親書を届けるなど、日中友好活動にも寄与。2012年CD「風にのせて」2018年CD「ふるさとやましな」2019年CD「人生は、素晴らしい！」を制作。2019年「やましな栄誉賞特別賞」受賞。琵琶湖グランドホテル専属演奏家。

■桃山音楽隊 MOMONGA（モモンガ）



2013年春に結成された京都発の4人組バンド。音楽的背景が異なるメンバーそれぞれの好みをアイランド音楽と融和させた「ミックスド・アイリッシュ」がバンドの売り。結成からこなししたステージ数は優に200を越える実践派のバンド。現在も「音楽で人を地域を元気にしまおう」をテーマに幅広く出演。世界遺産醍醐寺での奉納演奏、国立文化博物館や京都文化博物館でのイベント等、関西を中心に活動しています。

■X+（えくすと）



日高慎二のボーカルプロジェクト。京都府人権啓発広め隊のメンバーでチャイルドライン京都のテーマソングも担当。島根県ふるさと親善大使をはじめ全国7か所のPR大使や月化粧アンバサダーなど企業のPR大使、映画「神在月のこども」公式アンバサダーなどにも就任。高音のふんわりした声で癒しの歌を届けている。現在は有観客ライブとオンライン配信ライブで活躍中。

■MAKOTO（まこと）



16歳から祇園甲部の舞妓さんとしてお店出しをし、21歳で芸妓さんに襟かえ。幼少の頃より馴染んでいた洋楽が常にBGMとしてあったことから、歌手になりたいという夢も持っていた。趣味で歌い始めたJazz Liveが噂となり、2001年にAlbum『MAKOTO』で歌手としてメジャーデビュー。京都府内を中心にライブ活動を行い、森の京都Tabiインフルエンサー・日吉観光大使として田舎暮らしを発信中。

■Jusqu'à Grand-Père（ジュスカ・グランパール）



ジュスカ・グランパールは、ギター高井博章とヴァイオリンひろせまことによるインストゥルメンタル・アコースティック・デュオ。情熱的で美しいメロディーを特徴とし、誰にでも受け入れられやすい音楽としてCMやTVラジオ等で使用されるなど、老若男女を問わず、幅広く人々に愛好されている。CM曲をはじめ、テレビドラマやバラエティ番組(王様のブランチなど)の挿入曲、NHKの番組テーマ曲や特番などの楽曲提供。

☆広め隊学生

京都教育大学等の学生が歌と合わせて手話をしたり踊ったりします。また、ペーパークラフトコーナー等のブース運営をします。